



世界に希望を生み出そう



2023年 11月23日 (祝)

10:00~12:00 (10:00~受付開始)

場所: 小戸公園

福岡北ロータリークラブ

豊かな自然プロジェクト

アマモのタネを海に投げ入れ / and
ビーチクリーンアップ

海をはぐくむ海のゆいかさ、アマモとは？

「アマモ」というものを、聞いたことはありますか？アマモは浅瀬に生息する海の植物「海草」です。小魚や甲殻類などのすみかになるだけでなく、海をきれいにし、光合成をおこなうなど、重要な役割を担っています。そんなアマモの生息地が、いま大幅に減少してしまいました。海の環境を取り戻すために、アマモのタネを投げ入れて、アマモ場再生活動をおこなひましょう！

ビーチの清掃もしましょう。単純にごみを拾うだけではなく、対症しながら行うことで、海洋ごみ問題を身近な事とするための場づくりを！



本活動は、地区社会奉仕委員会独自の「豊かな自然プロジェクト補助金」制度を活用したもので、実行委員会を組織し、活動の企画は「一般社団法人ふくおかF U N」様のご指導をいただき、100名参加を目標に準備を進めました。まず、参加者募集のパンフレットを作成し、クラブ会員はもちろん、ご家族、社員の方々に広報活動を行いました。また、当クラブが発足当時から支援している「ボーイスカウト福岡第14団」にも絶大なるご協力をいただきました。

当日を迎え、秋晴れの下、目標を大幅に上回る120名が参加しました。最初に当クラブの山田会長の挨拶から始まり、ふくおかF U N代表の大神様から博多湾の現状を説明していただきました。博多湾には人工芝の切れ端や発泡スチロールのかけらが多く、砂浜だけでなく、そこに続く広場にもプラスチックごみが風に流されて落ちていることを教えていただき、みんなでクリーンアップ作戦を繰り広げました。次に、昔は能古島との間に豊かなアマモ場がありましたが、今ではたいへん少なくなって、その結果、魚が少なくなってしまったそうで、アマモ場の再生回復の必要性を教えてくださいました。また、アマモは海中の二酸化炭素を吸収してくれる役目もあるそうです。アマモ場を再生するために、アマモの種をまがした寒天団子を海に投げ入れました。アマモの種が発芽し、成長するのが楽しみです。



アマモ ⇒

